

# 放射性医薬品納品システムの変更に伴う<sup>201</sup>Tl心筋SPECT検査の臨床画像への影響 および対応策の検討に向けた共同研究

## 研究の意義・目的について

放射性医薬品の安全で適正な使用が求められていますが、平成28年4月4日から放射性医薬品納品システム（以下、システム）の変更に伴って、変更後では放射エネルギーが65～50%近くに減少した状態で届くため、今までと同じ検査法（投与量・収集時間等）では臨床画像に影響がでることが懸念されます。各医療機関では投与する放射エネルギー減少に応じた対策を行っていますが、その方法は確立されていないのが現状です。

そこで奈良県下の研究会である奈良県RIミーティングが中心となり、県内の核医学検査を行っている施設を対象に、今回の臨床画像への影響について、既に検査された臨床画像を用いた後ろ向き研究を行いたいと考えています。本研究により今回のシステム変更に伴う影響を最小限にとどめるための方策を提案し、県内の核医学検査の均霑化につなげることを目的としています。

## 研究方法

研究に参画する医療機関で、システム変更前の6月間（平成27年10月～平成28年3月）に心筋血流シンチを受けた患者さんおよび、システム変更後の6月間（平成28年4月～平成28年9月）に心筋血流シンチを受けた患者さんのうち、正常と診断された検査データを対象とします。該当する検査データを無作為に抽出して解析します。

## 予測される利益・不利益について

この研究は既に行われている検査結果を使用するもので、対象となった患者さんに直接生じる利益はありません。また新たな負担などの不利益もありません。

## 個人情報の保護について

個人情報を直接同定できるような情報は使用いたしません。また、研究の途中においてもこれらの情報が漏れることのないよう細心の注意を払います。

## 患者さんへのお願い

研究にあたり、患者さんに直接のご同意は頂かず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施いたします。研究内容の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 研究結果の公表について

本研究結果は学会で発表する予定です。

## 費用について

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また、謝礼もありません。

## 研究結果の公表について

(公財) 天理よろづ相談所病院 放射線部 寺口昌和 (研究責任者)、錦 成郎 (技師長)  
電話 0743-63-5611 (内線8607)